

外来における在宅療養支援能力向上のための研修 (eラーニング講義個人受講 + 演習)

在宅療養支援の要となる外来看護職員を対象とした研修です
講義と演習の組み合わせで実践力の強化を目指します。

研修目的

- 外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
- 習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

対象

外来勤務の看護職員（常勤や非常勤等の雇用形態、また、短時間勤務等の勤務形態は問わない。救急外来勤務も含む）

受講方法

インターネットを利用したeラーニング講義を受講後、演習を受講（**演習受講には、eラーニング講義の修了が条件となります**）

日時/場所

eラーニング受講：2026年9月15日（火）～10月25日（日）

演習日時：2026年11月14日（土） 13:30～16:00

演習場所：京都府看護協会研修センター3階大研修室 京都市左京区高野泉町40-5

受講料

会員4,950円 非会員12,375円

申込期間：

2026年

8月1日～8月31日

申込方法

* 京都府看護協会ホームページ内Webシステムからお申込みください

* eラーニング受講にあたり、個人のメールアドレスが必要となりますので、右記QRコードもしくはURLから必要事項をご入力ください



<https://forms.gle/3DZWtqcfPscCYqfcA>

【お問い合わせ】

公益社団法人京都府看護協会研修センター

担当者 常任理事 乾 啓子 TEL075-723-7195 mail inui@kyokango.or.jp

外来における在宅療養支援能力向上のための研修プログラム

● eラーニング講義【200分】

章	単元／主な内容	講師(所属等) ※敬称略	時間
1	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 (公益社団法人日本看護協会常任理事)	40分
2	外来における在宅療養支援 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田 智子 (慶応義塾大学看護医療学部教授)	40分
3	在宅療養を支える地域連携とネットワーク 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	吉田 千文 (常磐大学看護学部教授)	40分
4	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井 淳子 (東京女子医科大学病院家族支援専門看護師)	40分
5	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. 地域における多職種連携・協働の実際と推進の必要性	松本 明子 (医療法人社団聖カタリナ病院ナースマネージャー)	40分

● 事前課題

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記について、各自がまとめる。(A4 1~2枚程度)

- ① 地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ② 外来における療養支援について自身が感じている課題

● 演習【150分】

主な内容	
講義	京都府における、医療・看護を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッション; 事例検討
全体共有	グループからの報告及び質疑応答・意見交換